

特定非営利活動法人イマジン

〒427-0022 静岡県島田市本通二丁目4-20 Tel 0547-34-3370 Fax 0547-34-3371



# イマジン通信

Vol.60



## 今年を振り返り

今年を振り返ると本当あつという間の1年でした。1月より放課後等デイサービス事業「この指とまれ」を開所し、5月から生活介護事業「風のこえ」を開所。10月には2つ目の活動拠点として「雲のこぼれ」が開所しました。その間もヘルパー事業やGHCH事業では、より質の高い支援を目指してヘルパーの育成、世話人の育成に力を入れてきました。私の自論である「福祉のプロは居ない」の通り、全ての職員と共に利用者の目の前に立つ限り日々が精進であり、本当にその通りの日々でした。利用者の様子も変化の多い1年だったこともあり、職員と共に考え、悩み、手立てをとり、結果を実感する。今年は特に新しい職員も多かったため、新しい職員にイマジンの考え方を教え、支援の在り方を教え、具体的な関わり方を示しながら、日常的に彼らと共に支援をする他の職員や管理する職員への指導・教育に追われた1年でした。その甲斐もあり、多くの職員が良き支援者へと育ちつつあります。職員から仲間になっていくのを実感しています。

しかし、それとは逆に体調面や家庭での事情等…残念ですが辞めていく職員もいます。その多くは「本当はイマジンで支援がしたい」と言って、今までイマジンを支えてくれた仲間が去って行きました。離職はしなくても産休や育休等で現場を離れる職員もいます。今年は結婚や出産等も多く、職員の数が増えただけではなく、今までには無かった職員の変化が多くあった年でした。長く続けていく間には必ず起こることが起きているんだと考えさせられることが多々ありました。

その中でも一番切実なのが“継続していく”ということです。支援の質はもちろん大切です。それ以上に継続していかなければなりません。プロは居ないのですから支援者を作っていかなければなりません。利用者を大切にするあまり、一部の職員に負担が集中している現実もあります。更なる職員の増員と更なる指導と教育を実施していく必要を痛感します。法人全体で、どのような支援者の集団にしていくのか？どのような支援を提供する事業所にしていくのか？も考え、一つ一つですが実行しています。

今までは、利用者の皆さんやご家族の声に応える形で歩んできました。その姿勢はこれからも変わることはありません。しかし、法人が大きくなり、職員である仲間が多くなり、利用者も多くなると、イマジンが示していく支援の在り方やこの地域での役割なども考えていかななくてはなりません。そんなことに改めて直面し、考えさせられた1年でもありました。

事業実績は予算以上の結果を残すことができました。それだけに、より安定したサービスの提供や法人経営を考えた時、強い法人にする必要があります。社会の経済的な不況は直接的には影響はありませんが、利用者への支援を続けさせていただくためにしなくてはならないことが山積みです。そして、そこには必ず職員＝仲間が必要です。障害者支援が楽しく、やりがいのある仕事だと感じる仲間が力を合わせて頑張っています。是非、皆さんの暖かいエールと厳しい指導をお願いします。

本当にあつという間の1年でした。本当にありがとうございました。（理事長 澤島）



## 雲のこぼれ 作業を始めました♪

雲のこぼれが開所して2ヶ月が経ちました。雲のこぼれは、生活介護でありながら作業を活動の中心にするような取り組みを実施しています。作業内容の充実とともに利用者さん達の活動の流れも固まり、皆さん熱心にそれぞれのプログラムに取り組んでいます。現在、主に取り組んでいるのはペットボトルの解体作業とネジの組立て、袋詰め作業です。ペットボトルは解体作業を長い時間集中できない方は、散歩や休憩と組み合わせながら取り組んでいます。また、室内でジツとした作業が苦手な方などは、市内のコンビニさんの協力を得てペットボトルを譲っていただき、コンビニさんまで散歩を兼ねて回収に行く活動をしています。

利用者さん達に作業に取り組んでもらう上で、一番気を付けているのが環境づくりです。一人ひとりがそれぞれ違い、出来ることも、取り組める時間も違います。みんなとお話しながら楽しく作業したい方もいれば、一人静かな場所で集中して取り組みたい方もいます。それぞれの個性に合わせた作業環境と障害特性に合わせたプログラムを提供することで、皆さんが楽しく、また落ち着いて作業に取り組めるようにしていきたい

と思います。環境が整った時の皆さんの頑張りは驚くほどです。そんな嬉しい驚きを見せてもらえるような作業環境をこれからも整えていきたいと、日々奮闘しています。（担当 渡邊）





## つつい雨やどりの生活 ⑳

12月に入り、2013年もあとわずかとなってきました。「今年は秋が短いね。」と言っている内に本格的な冬が来てしまい、アツという間に新年の準備の時期になってしまいました。と言っても、つつい雨やどりの皆さんは、毎日変わらずに生活されています。

今回は、生活の中で起こる事件・事故についてのお話です。生活の中には様々な危険が潜んでいます。これは、GHCHIに限られた話しではなく、全ての場面で言えることですが…。この危険を察知し、出来る限り事故を防ぐ事は、世話人の大切な仕事のひとつです。俗に言う『リスクマネジメント』ですね。これが出来ていないと、ちょっとした事も大きな事故につながってしまいます。そして、起きてしまった事故などを思い返すと、「ここで〇〇すれば良かった!」「事前に〇〇しておけば良かった!」などと反省すべき点が多々出てきたりします。

最近のつつい雨やどりでは、様々な事故が目立って起きました。「階段で躓いて転倒してしまった」「落ち着かない時にガラスを割ってしまった」「イライラして他の人を突き飛ばしてしまった」などなど。これらは非常に危険で何よりも怪我に繋がる確率が高くなるものです。『事故』と言っても、怪我等を伴わないものもあります。「送迎の時間を間違えてしまった」「日中活動先に薬を渡し忘れてしまった」「事業所の携帯電話を放置し壊されてしまった」など…。どれをとっても、相手を良く理解する、周りの状況に気を配る、事前に確認をする、と言ったことをしていれば、大いに回避できた可能性があります。「事故が起きた」のではなく、「事故を起こさせてしまった」「皆に辛い思いをさせてしまった」と言えます。

その様な状況を踏まえ、察知する力を鍛え、同じ危険を犯さない為に、小さな事も今まで以上に『事故報告』や『ヒヤリハット』で報告し共有する事を大切にしています。また、その報告を紙で終わらせない為に、『事例検討会』を始めました。実際にあった事例を基に、何ができたか、何をすべきだったか、なぜその様な状況になってしまったのか、グループごとにディスカッションします。「なぜ?」「どうしたら?」を個々に考え、お互いに意見を交し合う事で、新たな視点を持ち、今まで以上に気を配った支援ができればと思っています。世話人と言う立場にとらわれず、『支援者』として考えます。イマジンには様々な事業があり、事例も豊富なのでヘルパー等の事例を検討することもあります。

しかし、どんなに報告書を読んでも、どんなに検討会をしても、個々の世話人が日頃から十分に意識していなければ、事故は減りません。『危険な物は無いか、職員配置は適正か』など事前の確認。不安定な状況が見られた時には『周りに人は居ないか、危ない場所は無いか』などの気配り。状況に応じた職員間、時には入居者への『事前の声掛け』などの配慮等。世話人同士が声を掛け合い、フォローし合う事で、個々の意識を高めると共に、個々では不足する部分を補っていかうと考え、取り組んでいます。



考えていけば、いくらでも危険な要素は出てきます。もちろん、防ぎきれない事もあるかもしれませんが、しかし、事故を最小限にとどめる為に、起こってしまった後に「〇〇すれば…」と後悔しないように、つつい雨やどりを利用してくれている皆さんが辛い思いをしない様に、世話人は常に考え、気を配り、努力していかなければと思っています。開所から6年目が終わろうとしています、まだまだ伸び盛り!!来年も職員一同頑張っていきますので、どうぞよろしくお願い致します。(担当 二宮)



## 今月の世話人のつぶやき (いよいよ雨やどり)

いよいよ冬到来です。いよいよ雨やどりのある湯日地区は風の通り道で、北風がビュービューと吹くようになりました。外は寒いですが、入居者さん達はそれぞれが笑顔で自分らしく生活しています。

入居者さん達は、自分の身の回りのことは出来る部分を自分で、支援の必要な部分を世話人と一緒にやりながら生活しています。もちろん、できない部分は他の入居者の協力や世話人の支援を受けています。一番分かりやすいのが“洗濯”です。お風呂に入る時、脱いだ服を自分の洗濯かごに入れ、自分の洗濯日に洗濯をします。自分で洗濯機を回し、干し、取り込み、畳み、しまします。

最近、A君は上手に洗濯物を干せるようになりました。今年の春先は、ピンチを上手に使えなかったり、上着の袖も脱いだままの状態で干されていましたが、世話人と一緒に1枚1枚確認をしながら干していくことで少しずつ袖を直したり、複の形による干し方のコツのようなものを覚えていきました。最近では自信が出てきたのか「洗濯干し終わりました!」の必ずしてくれる報告の声も堂々としているように感じます。以前に澤島理事長より言われた「障害者であっても自立していく」との言葉が深く心に響く瞬間でした。

また、毎日、世話人が作った食事をしっかりと食べているのに痩せていく入居者さん達を心配する声がよく聞かれます。栄養のバランスや日中の過ごし方などを考えて、美味しい食事を提供しています。ご実家では食べられなかったものも、食べられるようになることもたくさんあります。みんなが美味しくそうに食べている様子を見てみると、「一緒に食べたいなあ」と思うぐらいですよ。(担当 稲葉)





## 初めてのクリスマスシーズン

まだ暖かいなあと思っていたらもうすっかり冬になり、朝のあいさつの次には「寒いですね」という言葉が出てきます。

「この指とまれ」初のクリスマスを迎えるにあたって、先日、保護者様から頂いたクリスマスツリーを飾らせて頂きました。子どもたちみんながどんなリアクションをするのかなあ？とわくわくしていました。学校から帰ってきてツリーを発見すると、真っ先にツリーを下さったお宅の子が駆け寄り「キラキラきれいだねえ」と言いました！他の子たちも、近くに行って電球のスイッチを触ってみたり、離れた場所からチラッと見たりと、みんな興味を持ってくれました！クリスマスの飾りつけて、何だかわくわくするのは私だけでしょうか？キラキラしているツリーを見ながら「サンタさん何くれるかねえ」と聞くと「ラジカセをお願いしたよ！」という子もいれば、数ヶ月前からクリスマスプレゼントをお母さんをお願いしている子もいて、とてもおもしろいです。みんなに幸せなクリスマスが来ることを願います。



早いもので、もうすぐ開所してから1年が経とうとしています。始まった当初、右も左もわからない私達にお子さんを預けて下さり、本当にありがとうございました。私達が子どもたちと一緒に楽しく過ごせてこれたのも、保護者の方々から暖かく見守ってくれたからだと思います。これからも、子ども達が「この指」で楽しく穏やかに過ごしてもらえよう努め、私達支援員は子ども達に癒されながら一緒に楽しい時間を作っていきたいと思います。これからも、色々とお教え下さい！よろしくお願い致します。（担当 油井）



## 今月の世話人のつぶやき（ついつい雨やどり）

寒さが身にしみる毎日となりましたが、ついつい雨やどりの入居者さん達は風邪などもひかず、毎日を過ごしています。

ついつい雨やどりでは最近の取り組みとして、身だしなみの支援の徹底を行っています。入居者さん達は自分で選んで服を着る方とそうでない方といらっしゃいますが、その日の気候に合わせた服や色合い、着あわせなどを選んで着ることはできません。そんな時は世話人が一緒に居室へ行き、服を選んで着ていただくことを支援させていただいています。衣類等の身だしなみは目に入りやすいので、支援しやすいですが、こまかな部分に関しては世話人1人1人が常に気を配ることが大切になってきます。例として手足の爪です。雨やどりでは毎日の入浴時に支援に入らせていただきます。ただお風呂に入り、身体を洗うことだけではなく、皮膚の状態や爪が長くないかなど身体を洗いながら確認をさせていただきます。入浴は毎日しますので、自然な流れの中で身体の状態を確認できる時間が作れます。入浴の時間というのはとても大事な時間となります。

なぜ？この取り組みを徹底しているかということ、障害があろうとなかろうと1人の人です。私達も同じように身だしなみが整っていない格好で外に出には出ませんよね？季節に合っていない服装で外には出ませんよね・・・。常に「自分だったら」と考えて行動することや支援を行うことが必要なことだと考えています。

私達たちはご家族の代わりとなって入居者さん達の支援をさせていただいています。ご家族の方がご本人さん達に愛情をもって接していたように、私達も入居者さん達に愛情を持って支援を行うこと。また、常に入居者さん達の立場に立って物事を見れる支援者となれるように、こういったことを大事に今後も支援をおこなっていきたく思います。（担当 杉崎）



## 防災訓練をやっています。

いつ何時に地震が起きてもおかしくはない今、ついつい雨やどり、いよいよ雨やどり合同で防災訓練を行っています。「生活されてる入居者さん達の立場になり訓練をする」ことを目的とし、毎月ではありませんが昼間の訓練、夜間の訓練を行っています。繰り返し訓練を行うことで良くなってきた事は避難するまでの時間が早くなったことです。入居者さん達も職員達も危機意識が段々と強くなり職員同士はもちろん、入居者さん同士の声掛けも見られた事が嬉しく思えました。

その逆に、難しかった事はショートや日中の利用者さんが参加する際、職員も毎日はいない利用者への対応が難しいことを実感しました。また、普段では気にしていなかった高い所の物や危険物があり、もし地震が！火災が！となった時を想定した『安全の確保』が出来ていない部分があったことです。防げることも防げなくなる時があるかもしれない！という危険予知が出来ていない事に気づかされました。

訓練を通し、改善していく事もあればたくさん問題点が出てくることを世話人みんなでも実感しました。防災の面でも安全と安心のあるケアホームにしていきたいです。（担当 原田）



## 平成25年度 正会員の募集をしています！

日ごろからイマジンの活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。NPO法人にとって正会員は必要不可欠な存在です。本当にありがとうございます。

平成25年度の正会員の募集をしています。年会費の受付は常時行なっています。新規の会員も継続の会員も大歓迎です。年会費はイマジンまでお持ちになっても、下記口座まで振り込まれても結構です。また、イマジンのサービスを利用されている方は引き落としも可能ですのでお申し付けください。イマジンの活動に引き続きご協力・ご支援をお願い致します。

☆青嶋勝男    ☆大石泰樹    ☆大石よしの    ☆大村敦始    ☆小林奈美    ☆塩沢 満    ☆杉本唯夫  
☆杉本美代子    ☆杉山高四    ☆鈴木由啓    ☆竹内増美    ☆立石 久    ☆田村代志子    ☆寺岡 淳  
☆筒井由美子    ☆中野重弘    ☆萩原とも子    ☆松本聖市    ☆八木はる    ☆山本珠美    ☆良知忠明

【年会費】正会員 5,000円 ・賛助会員(個人) 1,000円 ・賛助会員(団体) 20,000円

【振込先】 静岡銀行 島田支店 普通 0606771  
特定非営利活動法人イマジン 理事長 澤島直通



◆ 平成25年度の正会員募集中です。ご協力お願いします。

### ◆◆ サントドリームプロジェクトのお知らせ ◆◆

静岡だいいちテレビさんより、この指とまれにテレビのプレゼントがありました。これは、県内の児童福祉施設が応募し、その中から寄贈先として選んでいただいたものです。設置後の12/16(月)には、サンタさんが子どもたちにお菓子のプレゼントもしていただきました♪その時の映像が放送されるかもしれません！是非、チェックしてください♪



放送日時 平成25年 12月23日(月・祝) 夕方 午後4時45分～6時45分  
番組名 ○ごとワイドSP サントドリーム2013

### ◆◆ 「地域生活を考える」シンポジウムのお知らせ ◆◆

生活支援センターやまばと主催でシンポジウムが開催されます。障害当事者の企画・運営により、当事者の「私がこういうところに通っていて、こういう活動をしていることを、地域の人に伝えたい」という要望から作品の発表や体験などのフェスタ企画を楽しんでください♪

日 時 平成26年 1月18日(土) 午後1時30分～4時  
会 場 牧之原市総合健康福祉センター さざんか

### ◆◆ ご寄付のご協力をお願いします。 ◆◆

今後のケアホーム事業を始めとする全ての事業を継続していくため、強い法人づくりを行っています。安定したの提供、法人運営に建設費用や運営費用が多く必要となります。是非、イマジンの活動趣旨にご理解を頂き、皆様のご協力をお願いします。

【振込先】 静岡銀行 島田支店 普通 0606771  
特定非営利活動法人イマジン 理事長 澤島直通 ※お振り込みの際、氏名のご記入をお願いいたします。

### 【連絡先】 特定非営利活動法人 イマジン

#### 障害者支援センターイマジン

〒427-0022 静岡県島田市本通二丁目4-20  
TEL 0547-34-3370 FAX 0547-34-3371  
e-mail imagine@za.tnc.ne.jp  
<http://www3.tokai.or.jp/imagine/>

#### 初倉事務所(つつい雨やどり隣)

〒427-0113 静岡県島田市湯田1-1  
TEL / FAX 0547-30-4117  
e-mail npo-imagine@cy.tnc.ne.jp

